

五藤光学研究所 配給作品

星夜の幻灯会

～宮沢賢治作「雪渡り」より～

対象	ジャンル	投映システム
----	------	--------

- | | | |
|-------|--------|------------|
| ■ 幼児 | ■ 原作もの | ■ スライドのみ |
| ■ こども | ■ 天文 | ■ VTR+スライド |
| ■ 一般 | ■ 科学全般 | ■ 簡易全天投映機 |
| | ■ 学習 | ■ バーチャリウム |

- 投映時間：約25分
- 季節：冬季中心
- 制作年度：2011年
- 宮沢賢治原作『雪渡り』をもとにプラネタリウム番組にしました。



番組について

宮沢賢治の数ある童話のひとつ「雪渡り」。その世界を再構成し、プラネタリウム番組にしました。

原作では人間の所業とキツネの対立を映し出す森の幻灯会。この作品では、星空の美しいものや星座の物語が映し出されていきます。プラネタリウムならではの場面として、オリオン座などが登場する、星座カルタを繰り広げます。

主人公はキツネの紺三郎と人間の幼い兄妹。賢治特有の擬音で表された世界を再現し、雪の日を喜ぶ子どもの純真さを表現します。キツネの幻灯会に招かれた四郎とかんこは、ずるがしこい動物とされているキツネとふれあい、信じる心を育てていくのです。

お子様たちだけでなく、大人の方も楽しみいただける番組です。



キャスト

- | | |
|--------|------|
| ナレーション | (未定) |
| 四郎 | (未定) |
| かんこ | (未定) |
| 紺三郎 | (未定) |

あらすじ

四郎とかんこは歳の近い兄と妹。

冬のある日、森へ遊びに行った二人は、キツネの紺三郎と出会い幻灯会に誘われます。

幻灯会ではスクリーンに次々と美しい映像が映し出され、二人には団子も振舞われました。キツネが差し出す団子に戸惑った二人でしたが、食べてみるとそれはそれはおいしい団子だったのです。

幻灯会で楽しく過ごした二人。迷いそうになりながら帰る道の先には出迎えの灯が優しくゆれているのでした。

